

9.12~13 労働千葉大会 定期大会を成功たせよう

日刊 労働千葉

84. 8. 24

No. 1725

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

切迫する『二期着工』と『分割・民営化』
10万人首切り攻撃を断固粉碎する
全国鉄労働者の総決起体制を築こう

労働千葉は九月十二日と十三日、鴨川市の鴨川館において第九回定期大会を開催します。
中曽根内閣は軍事大国化・改憲攻撃の基軸を「三里塚」と「国鉄」にしぼりきり、侵略戦争にむけて「総決算」をかけた攻撃にうってでてきています。
第九回定期大会を出発点に、八〇年代中期を文字通り労働者人民の未来をかけた階級決戦としてとらえ、勝利しきる路線を確立するために圧倒的な成功をかちとろうではありませんか。

国鉄労働運動の解体を狙う中曽根

中曽根内閣の侵略戦争体制構築にむけた反動攻撃の基軸は、総評―日本労働運動の産業報国会化にむけた国鉄労働運動解体にびたりと焦点が合わされています。

国鉄労働者を取りまく状況は、かつてなく深刻な事態に直面しています。

「国鉄二〇万人台体制」を目指す当局は、合理化、人減らしの強行によって「過員」をつくり出し、「過員対策」と称する配転等を強制する一方第二の「定員法」ともいえるべき「余剰人員対策」を打ち出し、大量首切りを断行しようとしています。そのうえで政府、自民党、再建監理委員会、国鉄当局は、ついに国鉄の「分割・民営化」方針を決定しました。二二兆円の借金をかかえ、経営形態として成り立たないことが明確であるにもかかわらず、あえて「分割・民営化」に踏み切る狙いは、総評労働運動が完全に骨抜きになりつつあるなかで、戦闘的国鉄労働運動を解体することにあります。

三里塚闘争の破壊を狙う中曽根

中曽根の侵略戦争体制構築にむけたもう一方の反動攻撃の基軸は、成田用水着工をめぐる事実上の二期着工攻撃の激化として全国の反戦・反核、住民闘争の砦・三里塚闘争解体にむけられています。

政府・空港公団は、国家権力機動隊を使って三里塚を戒厳令下におくとともに、条件派はもとより脱落派をも利用し、成田用水着工―反対同盟破壊―三里塚闘争の圧殺を狙う文字通り支配階級の全体重をかけた攻撃にうって出てきています。

労働運動のけん引車として登場する 出発点としよう

中曽根内閣の軍事大国化・改憲、戦争へむけた反動攻撃のエスカレートは、支配階級の側から戦後支配のあり方を一変させる問答無用の攻撃として、労働者人民を侵略と反動と暗黒の道にたたきこむものです。

われわれは敵の攻撃に屈服し、再び産業報国会の道にころげ落ちるのか、それとも労働者が主人公となる社会の実現にむけて、反撃の闘いに決起するのかの二者択一が問われています。

労働千葉第九回定期大会は、労働千葉こそがこの闘いを実現し、日本労働運動のけん引車として登場するための歴史的出発点としなければなりません。

大会を成功させ、「三里塚・国鉄を基軸に反動中曽根と対決する労働運動」路線の強化、拡大をかちとろうではありませんか。

第九回 定期大会 会場
日時・9月12日(木) 10時~
13日(木) ~17時
会場・鴨川市・鴨川館
(国鉄鴨川駅下車1分)
至鴨川有料道路
至太海
至安房天津、勝浦(外房線)
至小湊
至太海、館山(内房線)
鴨川館
TEL.04709(3)4111
鴨川シーワールド